

ひだまり

Japanese Red Cross Shimoina Hospital

 日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

下伊那赤十字病院広報誌

vol. 66

2016秋発行



■認定看護師が活躍しています！

認定看護師とは、特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて水準の高い看護を実践できるものとして、日本看護協会の認定審査に合格した者です。当院では、より質の高い医療を提供するために、以下の5名が各分野の認定看護師として、自ら実践し、他の看護師の相談・指導にあたっています。

- 松下美幸 (感染管理認定看護師) (後列左)
- 石原佳代子 (摂食・嚥下障害看護認定看護師) (後列右)
- 沢田 泉 (認知症看護認定看護師) (前列左)
- 伊藤みほ子 (訪問看護認定看護師) (前列中央)
- 森上幸恵 (皮膚・排泄ケア認定看護師) (前列右)

ハートラちゃん



院内探検

ツアー

vol.9

〈認定看護師編〉

認定看護師ってなにやってるの!!



訪問看護

認定看護師の資格を取り9年が経ちます。今は看護部長として「地域の方との連携を大事に」との思いで、業務にあたっています。訪問看護ステーションの目指す姿である、「在宅療養者・家族の方の思いに

寄り添い、住み慣れた自宅で最期まで過ごせるよう看護を提供する」をミッションとし、取り組んでいます。

また、当院の訪問診療を担当する医師や開業医の先生方と連携をとり、在宅での「看取り」に力を入れております。

地域を知り、地域の専門職の方々と地域に必要なシステムを創っていく役割を果たしていきたいと考えています。

訪問看護認定看護師 伊藤 みほ子

皮膚 排泄ケア



創傷（床ずれや手術の傷など）、ストーマ（人工肛門や人工膀胱・膀胱ろうなど）、失禁（便や尿が漏れる）などの方を対象に、予防的なケアやトラブルへの対応について、専門的な技術と知識を提供しています。

院内では主にスキンケアを中心に実践しています。

また、医療スタッフへの指導・相談を通して、院内全体の看護の質の向上を目指し活動しています。

毎週火曜日は、褥瘡（床ずれ）などの傷のケアの他に、ストーマケア、便・尿の漏れによる悩みなどの相談も受けています。

入院患者さんだけでなく、外来の通院患者さんや在宅で療養されている方にも、不安なく日常生活が送れるようにサポートしていきたいと思っています。

皮膚・排泄ケア認定看護師 森上 幸恵



摂食 嚥下障害



「摂食・嚥下障害」とは、脳卒中や加齢などにより、食べるときにむせる、飲み込みづらいなどといった、食べる・飲み込むことに困難がある状態のことです。

「年をとっても、最期までおいしく、安全に食べる楽しさを支えたい」という思いで、患者さんのケアやスタッフの指導をしています。具体的には、食事をするときの姿勢や最適な食事の固さ・形、口腔ケア・食事介助の方法、栄養管理などを患者さんやご家族、またケアにあたる院内のスタッフに伝えています。

当院では毎週火曜日に「のみこみ外来」を開設しています。（予約制）ぜひご相談ください。

摂食・嚥下障害看護認定看護師 石原 佳代子

感染管理



院内感染対策は、患者さんだけでなく、面会に来られる方や職員を含め、病院に関わるすべての人を感染から守ることを目的としています。

定期的な職員研修や巡回（ラウンド）などを通じて、教育や指導、対応などを行っています。

また、コミュニティカフェや出張講座でも、インフルエンザ予防などのお話をさせていただいています。

感染対策は、専門の医師、薬剤師、検査技師、担当看護師（リンクナース）がチームで活動しています。

今後も、患者さんや職員の安全を守るために、チームで取り組んでいきます。

感染管理認定看護師 松下 美幸



認知症



認知症になっても、その方がその方らしく、住み慣れた地域で生活が出来る社会」を作るために、認知症の正しい知識と、上手な接し方を広めたいと考えています。

認知症の予防に関すること、生活に支障が出ている方へのアドバイスなどをお受けしています。

当院では認知症初期集中支援チーム（通称；オレンジチーム）も活動しています。

ご家庭や介護の現場で苦慮されていることや、不安なことがあればぜひご相談ください。

認知症看護認定看護師 沢田 泉



■高校生が1日看護師体験!

8月4日、高校生が将来の夢を体験する1日看護師体験を行いました。この事業は毎年、夏休みにあわせて実施しています。

今年は2名の高校生が参加しました。白衣に着替え、まず看護部長からのナースキャップ戴帽セレモニーを行いました。続いて、先輩看護師とともに看護師の志を説いたナイチンゲール誓詞を朗読し、病棟での看護体験にのぞみました。

体験後の懇談会には、諏訪赤十字看護学校の学生も参加し、学生生活のことを話してもらいました。

感想文では「実際に看護師の仕事を経験してみて、この仕事への興味が以前より深くなった。また、看護学校の先輩の話も聞くことができ、今まで全然分らなかったことが具体的にイメージできてよかった。看護師になるためにもっとがんばろうと思った。」という嬉しい言葉をきくことができました。



■ボランティアさんが入院患者さん、利用者さんに手作りポプリをプレゼント!

7月7日、松川町赤十字奉仕団のみなさんが、病院駐車場に咲いているラベンダーを刈り取り、ポプリにして入院患者さんにプレゼントしました。

当日は強い日差しの中、蜂と格闘しながらラベンダーを摘み取り、院内の防災センターに場所を変えてポプリ作り。ラベンダーの香りが広がる室内で、奉仕団の皆さんが和やかに作業を進め、たちまち手作りの可愛い布の小袋ポプリが150個完成!

できあがったポプリは、奉仕団のみなさんが、入院患者さんに心を込めて手渡ししてくださいました。

受け取ったみなさまからは「いい香り、癒されるね～」と大好評!! 部屋中にラベンダーの香りと笑顔が広がりました。



■地域医療シンポジウムを開催しました 認知症になってもあんじゃねーに ～住み慣れた地域で自分らしく 暮らし続けるために～

7月16日、松川町役場で「第6回地域医療シンポジウム」を開催し、150名の方にご参加いただきました。

今年は「認知症」をテーマに取り上げました。昨年7月から松川町と協働で活動を開始した、当院の「認知症初期集中支援チーム」(通称:オレンジチーム)の取り組みを中心に、地域のみなさまをはじめ、医療介護に関わる多職種のみなさまが、認知症予防にいかに関わっていくのか、また、医療や介護サービスを利用していかを考えました。

基調講演では、飯田病院精神科医の南風原 泰 先生が「認知症になっても笑顔で暮らせるまちに…」と題して、「認知症」について、幾つかのパターンがあること、また専門用語を解り易く解説していただき、参加された多くの皆様からもっとゆっくりお話を聞きたかったとの声も聞かれました。

続くシンポジウムでは、町や家族の会の方、認知症ケア専門士が、現状や、事例などを発表。認知症に関わる方の心の叫びを聞いて身につまされた…など感想が聞かれました。



下伊那赤十字病院

診療案内

平成28年 10月1日

管理者		病院長 網野章由							
診療日及び担当医師	内科	月	火	水	木	金	土(第2・4休診)		
		第1週	第3週	第5週					
	内科一診	栗原章浩	細田昌良	細田昌良	栗原章浩	栗原章浩	細田	栗原	交替
	内科二診	網野章由	網野章由	松本 孝 (漢方外来)	網野章由	細田昌良 <small>呼吸器外来(予約制)</small>		網野	
	総合診療科	伊藤 篤		伊藤 篤	伊藤 篤	伊藤 篤	伊藤		
	小児科	岩波利和	岩波利和	岩波利和	岩波利和	岩波利和	岩波	信大 (9:00)	信大 (9:00)
	外科	消化器科	森下 浩			森下 浩	森下		
		総合診療科 <small>乳腺・甲状腺・肛門</small>		櫻井道郎	櫻井道郎				
	整形外科	柴田浩範	柴田浩範	柴田浩範		柴田浩範	信大 (9:00)	信大 (9:00)	
	産婦人科	山田智子 (9:00～診療)	施 顕璋	施 顕璋	施 顕璋	施 顕璋			
泌尿器科			小林康宏 <small>第1.3.5のみ PM2:00～4:00 (受付正午～4:00)</small>			愛知医科大 9:00～12:30 (受付 11:30 まで)			
皮膚科			菅谷恵美 <small>AM 9:00～12:00 (受付 8:00～11:30) PM 1:30～2:30 (受付 正午～2:15)</small>						
耳鼻咽喉科		岩下利恵		岩下利恵					
眼科						山梨大 (受付 10:30 まで)			
＊禁煙外来(予約制)細田昌良(毎月曜日PM 2:00～4:00) ＊内科(心療)木下守(第2金曜日PM 1:00～1:30) ＊のみこみの外来(予約制)細田昌良(毎火曜日PM 1:00～)									
休診日	日曜、祭日、第2・第4土曜日、5月1日				受付時間	平日	午前8時00分～11時30分		
診察時間	午前8時30分～正午まで					土曜日	午前8時00分～11時		

☆都合により休診・代診等変更になる場合もあります。

☆緊急対応についてはご相談ください。

インフルエンザを予防しましょう!

インフルエンザウィルスは、ツバや痰などで人から人に感染するので、うがい・手洗い、マスクが有効です。

また、規則正しい生活、バランスの良い食事、十分な睡眠で免疫を高めることが重要です。

さらに、以下の点も意識することが大切です。

- ・身の周りのものにウィルスが付着する可能性があるため、食事の前、トイレの後、外から帰った後には石鹸でしっかり手を洗いましょう。
- ・うがいは、粘膜を潤し、付着したウィルスを減らすことが出来ます。
- ・マスクは、口や鼻からのウィルスの侵入を防ぐとともに、手で口や鼻を触るのを防いでくれます。
- ・インフルエンザ予防接種を受けましょう。

インフルエンザ予防接種を受けましょう

予防接種は予約制です。

- 1 電話もしくは受付窓口にて予約をして接種。
- 2 定期的に外来受診されている方は、受診の際に主治医にご相談ください。

できるだけ12月末までに済ませましょう。

接種開始日、料金等、の詳細については受付または電話にてお問い合わせください。 電話0265-36-2255

母乳育児相談

～卒乳・断乳後の『乳房マッサージ』で
乳腺症や石灰化を予防しましょう!～

古い母乳が溜まったおっぱいをそのままにしていると、おっぱいが詰まったりパンパンに張ったり、乳腺症などの原因になってしまうことがあります。

残った母乳は石灰化したり、しこりとして残ることがあり、検査などで「乳がん」の発見に支障をきたすことがあります。

また、母乳による育児は、不安や心配が尽きませんよね。母乳が出にくい、出すぎて困る、赤ちゃんが飲んでくれない。ミルクもあわせて使いたけど、母乳との割合は? などなど・・・

母乳ケアのプロである助産師が、ていねいな乳房マッサージやセルフケアの方法などを指導し、卒乳・断乳の方法、タイミング、育児相談もおこなっています。

お気軽にご相談ください。

- 費用 相談は無料です。
- 乳房マッサージ 2,000円+税
(市町村の産後サポート券・授乳・育児相談助成券などが使えます)

【お問い合わせ】

産婦人科 0265-36-2255

平日(月～金)9時～16時



下伊那赤十字病院 〒399-3303 長野県下伊那郡松川町元大島3159-1 TEL0265-36-2255(代表) FAX0265-36-2256

http://shimoina.jrc.or.jp/

発行：医療社会事業部